

# 埼接ミニ情報 24年11月号

発行  
（公）埼玉県接骨師会  
企画総務部

先月号で取り上げました、社会保障審議会医療保険部会柔道整復療養費検討専門委員会ですが、10月19日に第1回が開かれ、一カ月後位に第2回専門委員会が開催される予定でしたが未だに開催されておりません。また、衆議院の解散により実施される12月16日の総選挙の影響もあり、料金改定は来年に延びることがほぼ確実となったようです。

予定では、第2回専門委員会で、厚生労働省側より改正案が示され、それに対して専門家や業界側の意見等が出され、場合によっては持ち帰り検討し、その後の専門委員会で決定される予定でしたが、第2回の開催日はまだ未定の状況です。また、今度の衆議院選挙結果がこの料金改定にどのような影響を及ぼすのかも注視していかなくてはなりません。

一方で、今年3月に厚生労働省から各保険者に出された、柔整療養費の適正化の取り組みや留意事項については、着実に実施されているようです。市町村国保、後期高齢者広域連合なども例外ではなく、来年度に向けてさらに強化されるとのことです。このような厳しい状況下ですので、12月9日に開催される「保険業務講習会」には、全会員漏れなく出席していただき、柔整療養費に対する理解を更に深めていただきたいと思います。

第21回日本柔道整復接骨医学会学術大会に参加してきました。その中で、特に気になったことは、整形外科医の100%が整形外科学会に所属しているのに対し、接骨医学会に所属している柔道整復師は13%にとどまっているとの発表がありました。今後、行政・保険者との話し合いの中で、柔整治療の有効性・必要性を示していく場合や、倫理事項も含め、全柔道整復師が同じ方向を向くためにも日整・本会の組織率とともに、学会の組織率も上げる必要があると感じました。

## 【埼接学術講演会(公開講座)盛大に開催される】

11月11日(日) 浦和コミュニティーセンター多目的ホール(浦和パルコ10階)にて、第29回学術講演会「市民公開講座」が、栗田昌裕先生を講師にお招きし開催されました。栗田先生からは「心と体の能力開発法」のタイトルでご講演を頂きましたが「指回し体操」はじめ、会場と一体となった大変楽しく有意義な時間を過ごすことができました。本会学術講演会としては、初めての会館以外での開催となりましたが、アクセスも良く大勢の一般の方々にも参加していただきました。



## 【熊谷支部主管、市民公開講座開催される】

11月23日(金) 午前11時から公益社団法人埼玉県接骨師会熊谷支部主管により第4回健康講座が深谷市男女共同参画推進センター(Lフォルテ)にて講師に藤間病院理事長医学博士菱沢利行先生をお招きし13時30分から「中高年の膝痛・股関節痛の予防と治療」について開催されました。当日は講演前の11時から骨健康チェック等が支部員によって行われ、早朝から、順番待ちの参加者が会場内を埋め尽くしており大盛況でした。



## 【モンゴル人研修生、埼接会員の接骨院で研修を行う】

公益社団法人日本柔道整復師会が国際協力機構(JICA)の支援を受け実施している「日本伝統治療(柔道整復術)指導者育成・普及プロジェクト」の一環として、モンゴル人柔道整復術指導者候補2名が、狭山市の大河原整骨院、ふじみ野市の西山接骨院で、10月25日から11月17日まで研修を行いました。この研修生は、将来モンゴル国で柔道整復術を普及するための指導者となる予定の人です。また、11月14日には、本会阿部会長を表敬訪問するとともに、上田埼玉県知事の表敬訪問を実施しました。上田知事からは、柔道整復術をしっかりと習得するとともに、将来的にも、日本とモンゴルの友好のかけ橋になってほしいとお言葉を頂きました。二人の研修生は、現在、朝霞市の栗原整形外科と板橋区の中杉通り整形外科で研修を継続しています。



## 【損保会社との勉強会開催】

11月16日(金) 本会三階にて、県内各損保会社担当者との勉強会が開催されました。今回は損保会社側からの要請で行われたもので、約80名の損保側からの出席がありました。内容としては、損保側からまず柔整のことをよく知りたいとの要請があり、当会企画・総務部長より、柔整の歴史、現状、教育制度、実際の治療法等の説明をし、その後事前に提出してもらった質問に回答いたしました。今後も継続的に開催し、柔道整復師に対する正しい理解を深めてもらいたいと考えています。



## 【第27回学術研修会開催】11月11日(日) 浦和コミュニティーセンター第15集会室

〈研究発表者7名〉

- 大宮支部 池田 晃一 アキレス腱断裂歩行療法の症例報告
- 川越支部 山口 和仁 坂戸市地域支援事業活動報告
- 秩父支部 小高 良一 離断性骨軟骨炎の症例
- 本庄支部 須野原 勝 上腕部挫傷の一考察
- 北埼玉支部 半田 彰 旧騎西高校でのボランティア活動の報告
- 埼玉葛支部 泉谷 匡宣 弾発指の早期回復治療について
- 中央支部 柳沼 雄一 超音波画像観察装置による下腿部挫傷の経過観察 (関東学会埼玉県代表)

## 【今後の主な予定】

- ①平成24年12月 9日(日) 午前10時～保険業務講習会  
終了後＝認知症サポーター養成講座開催 『熊谷会館』
- ②平成25年2月23日(土) 午前10時～市民公開講座  
『東部地域振興ふれあいセンター(春日部市)』
- ③平成25年3月10日(日) 午前9時～関東学会(群馬音楽センター)